

営農型太陽光発電の売電収入を活用した市民協働による農地の利用促進

<概要>



発電施設の外観

- ・ 事業実施主体：非営利型 株式会社宝塚すみれ発電（兵庫県宝塚市）
- ・ 発電設備：営農型発電
発電出力 46.8kW
発電電力量 5万kWh/年
- ・ 発電設備下の農地：9a（さつまいもを栽培）
- ・ 建設費：1千7百万円
- ・ 運転開始時期：平成28年4月

<特徴>

- ・ 市民農園の有効活用と、再生可能エネルギーの導入を両立し、さらに市民の農業理解を促進するため、農地の所有者、宝塚市と協力し、市民農園に営農型太陽光発電を導入。
- ・ 事業費は、兵庫県から補助事業（融資）を受け、残額は市民出資で対応。また、発電設備の支柱基礎部分について、県から農地の一時転用許可を取得。
- ・ 売電収入の一部を農園利用料割引として市民へ還元。これにより、市民農園としても空き区画の発生を防止。
- ・ 宝塚市市税条例を活用し、災害時に市が利用することを条件とした非常用電源を設置することにより固定資産税の5年間免除を受けている。
- ・ 甲子園大学栄養学部では、市民農園の14区画を研究用に借りてさつまいもを栽培し、収穫後は加工して商品開発に利用し同学園祭でも一部販売した。



市民農園で、さつまいもを収穫する大学生



産学連携による
ジャム加工品

※農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業（H26）において発電事業構想の作成等を支援